福井の生きもの歳時記事業に、これまでに寄せられた生きもの情報をお知らせします。

○松永小学校（小浜市）

松永小学校３・４年生の皆さんが、観察・報告してくれました。

調査日：平成２８年１月２８日
調査地：松永小学校校区内（小浜市上野）

４年生は、一言コメントについて紹介します。

・優芽さん：ミカンの木を何回か見ました。
・緑さん：今年ミカンを食べました。おいしかったです。
・萌さん：ユズが塾にあります。
・優奈さん：去年は、フキノトウを見たことがあるけど
今年は、見ていません。
・心花さん：ミカンはよく見ました。
・彩夏さん：フキノトウはまだ見てないけど、ミカンの木は
見ました。
・樹香さん：フキノトウは去年見たけど、今年は
見ていません。

身近な生きもの観察報告シート

見つけた人数	生きもの名（七十二候など）	写真	説明
７人	サザンカ 【「つばきはじめてさく」 11/8－11/12】		【樹高】2ｍ～6ｍ 【生育地】林のまわり、いけがき、庭 秋の終わりから冬にかけて直径５～８cm の花が咲きます。花の色は白や赤、ピンクなど様々です。ツバキに似ていますが、花がばらばらに落ちるのがサザンカです。
７人	スイセン 【「あんなんかぜく」 11/13－11/22】		【草たけ】20cm～40cm 【生育地】海岸部、庭など 福井県の花。冬から春にかけて白や黄色い花を咲かせます。越前海岸は、日本三大水仙群生地として知られています。
７人	ミカン （かんきつ類） 【「たちばなはじめてきばむ」 12/3－12/7】		【樹高】2ｍ～6ｍ 【生育地】海岸部などに多い 日本で作られたミカンの古い品種にはウンシュウミカンやキシュウミカンなどがあり、県内で栽培されているところもあります。果実は 11 月～12 月に濃いオレンジ色に熟します。
２人	サケ 【「あけのちのおちがる」 12/17－12/21】		【体長】80cm～100cm 【生息地】海および河川 海でくらしているときは体全体が銀色をしていますが、産卵のためにこの時期河川をさかのぼるあいだに、赤、黄、緑のまだら模様になります。
４人	セリ 【「ますすなわちきかう」 1/6－1/10】		【草たけ】20cm～80cm 【生息地】水田やしめったところ セリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ、スズシロとしておなじみの春の七草の一つ。田んぼに水が入るといち早く姿を見せる植物です。
０人	フキノトウ 【「ふきのはなさく」 1/21－1/25】		【草たけ】30cm～100cm 【生育地】山のみちばた、ていぼう、空き地など フキノトウの正体はフキの花です。フキは「冬黄（ふゆき）」の略と言われ、冬に黄色い花をつけることからその名がついたとされています。
０人	ヤツデ（花）		【樹高】1ｍ～2ｍ 【生育地】海岸、庭など 別名テングノハウチワと呼ばれるとおり、その葉は直径 20～40cm と大きくてのひらのような形をしています。枝先に白い小さな花をたくさんつけます。

３年生は、見つけてくれた場所について紹介します。

・しょうごさん：校庭・換気扇のホース
・りょうやさん：校庭・家の壁
・よう太さん：校庭
・美咲さん：校庭
・さらさん：校庭
・はるとさん：日枝神社
・遥夏さん：校庭・ふる里公園
・○○さん：学校・四分一・あぜ道など

身近な生きもの観察報告シート

見つけた人数	生きもの名（七十二候など）	写真	説明
０人	セグロセキレイ 【「せきれいなく」9/13－9/17】		【体長】21cm～23cm 【生息地】河原や湖などの水辺 別名でイシタタキとも呼ばれるように、長い尾羽をいつも上下にふっているのが特徴です。
８人	ヒガンバナ （マンジュシャゲ） 【雑節「ひがん」9/23】		【草たけ】30cm～50cm 【生育地】田畑のまわり 秋のお彼岸のころ、真っ赤な目立つ花をつけます。花が咲いているときには葉は出ません。
６人	カマキリのたまご 【「むしかくれてたねをまく」 9/28－10/2】		【大きさ】2cm～4cm（種類によってちがいます） 【生息地】枯れ草の茎や小枝、へい、石など カマキリは卵で冬を越します。カマキリの卵は、100～300 個の小さな卵を守るようにスポンジ状のものでつつまれています。正確には「卵鞘（らんしょう）」または「卵嚢（らんのう）」と言います。
２人	ハギ（ヤマハギ）		【樹高】1m～2m 【生育地】日当たりのよい山の斜面など 秋の七草の一つで、落葉の低木です。福井県内にはキハギやツクシハギなどのなかまも見られます。
０人	マガン 【「こうがんおちる」 10/8－10/12】		【体長】65cm～86cm 【生息地】水田や広い河川じき マガンは日本で一番数が多いガンで、冬鳥として渡来します。くちばしがオレンジ色です。くちばしが黒く、先端が黄色いのはヒシクイです。
８人	ヨメナ 【「きくのはなさいく」 10/13－10/17】		【草たけ】50cm～120cm 【生育地】しめったところ 田や小川のふちでよく見られます。似ている植物にノコンギクがありますが、こちらは果実に冠毛がつくので見分けられます。
８人	コオロギ （エンマコオロギ） 【「あのぼりすずこえる」 10/18－10/22】		【体長】25mm～30mm 【生息地】畑や草原 体の色は黒や茶色で、後ろ足が長く太く発達しています。前ばねについている発音器をこすりあわせて鳴き声を出します。
８人	カエデ、イチョウなどの紅葉 【「もみじつたがあかい」 11/2－11/6】		【紅葉のしくみ】葉の内部には緑色のもとであるクロロフィルと黄色のもとであるカロチノイドという色素があります。秋になると緑色のクロロフィルが分解され、赤いアントシアンという色素が作られます。そのため、カロチノイドが多くなると黄色に、アントシアンが多くなると赤色に見えるのだそうです。

ありがとうございました。
次回は写真にも挑戦してみてくださいね。